

「十和田市立中央病院改革プラン」を策定しました

市立中央病院では、厳しい病院経営の中、経営の改善と医療の質のさらなる向上を図るため、平成21年3月に「十和田市立中央病院改革プラン」を策定しました。このプランに定める各種改善策の実施により、将来にわたり持続可能な地域医療の提供を目指します。

■市立中央病院の役割

▼上十三圏域の中核病院として、市民や圏域住民に対して、安全で効率よく、質の高い医療を提供します。

▼救急、小児科、精神神経科などの利益の出にくい部門の医療を提供します。

▼圏域唯一の常勤医のいる脳神経外科や、特色あるがん治療など、急性期医療における高度医療を提供します。特に、がん治療については、東北初となる高度医療機器トモセラピーを用いた放射線治療を行うとともに、緩和ケアを基軸とした包括的がん医療提供体制を整備します。

▼平成20年9月から産婦人科を再開し、地域の周産期医療を提供しています。

■経営改善の目標

▼平成22年度に不良債務の解消を目指します。

▼平成27年度に経常収支の黒字化を目指します。

■経営改善と医療の質向上のための取り組み

▼大学医局との連携を深め、現行の診療体制に必要な医師数を確保しながら、関連大学などへの働き掛けや医師負担の軽減策などにより、さらなる医師確保への取り組みを強化します。

▼地域医療支援病院基準など、新たな診療報酬項目を取得し、収入増を図ります。

▼医師に補助員をつけて診療の迅速化を目指し、患者の待ち時間の短縮や医師の過重労働の緩和につなげ、効率的な診療による患者増を図ります。

▼登録医制度、オープンシステムへの取り組みの強化、地域住民・開業医を対象とした研修会の開催、高度医療機器の共同利用推進など、地域連携の強化を図ります。



※オープンシステムとは、開業医師（主治医）が診察した患者を、中央病院に紹介し入院した場合、中央病院の担当医師と共同して診察や指導ができることです。

▼認定看護師、医学物理士など医療専門職の資格取得を進め、医療の安全や質の向上を図ります。

▼計画的に接遇研修を実施し、患者満足度の向上を図ります。

▼薬品や診療材料のコスト削減と適正な在庫管理を図ります。

▼委託業務の見直しを進め、コスト削減を図ります。

▼病院運営に必要な経費の一部負担に加え、病院の不良債務解消のために、市の一般会計から追加の繰り入れをします。

■近隣病院との関係強化

▼当院は、圏域唯一の脳神経外科医常勤施設として、隣接する三沢市立三沢病院および周辺病院との連携強化を図ります。

▼がん治療においては、化学療法が進んでいる三沢病院と、高度医療機器トモセラピーの導入や緩和ケアに重点を置く当院は、それぞれの特長を生かしながら連携し、患者の容態に応じた適切ながん治療に取り組み、県内で先進的な地域を目指します。

■経営形態の見直し

▼平成22年度からの地方公営企業法全部適用（経営責任・人事権などが市から病院に移る）に向けて検討・調整を進め、平成21年度中に結論を得ることとしています。

※十和田市立中央病院改革プランは、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。
<http://www.net.prefaomori.jp/city/towada/>

問い合わせ先

市立中央病院業務課
 ☎ 019-512121 内線3220